

今回の挑戦問題は「灰ヶ峰は噴火するか？」です。あなたはごどう思いますか？

あの山が噴火したらたいへんですね！

でも、今の自分には、それを考える知識も技能もないからわかりません。

そうですね。この単元では、火山についての知識や岩石がどのようにしてつくられるかを学びます。この単元がおわることには、みなさんは、もう灰ヶ峰ばかりでなくどんな山もそれが火山かどうか判断することができるようになりますよ。

そんなことができるようになるのか。よしがんばるぞ！

挑戦問題から始まる課題発見・解決学習

挑戦問題の提示によって

「解決すべき価値のある問題だけど、今の自分には解決できない、解くことができない」現状を自覚させるとともに、「この学習をすれば、この問題が解決できるようになる」見通しを示すことで、児童・生徒は学びへの意欲を高め、志を抱く（目標を定める）ことができる。

また、問題解決へ向かう準備（自分が取り組むべき課題を発見し、それらのひとつひとつを解決しながら問題解決に必要なすべ《知識・技能》を習得していく課題解決の）過程を通して、問題解決の力が鍛えられ、その解決への見通しは生徒にとって確かなものになっていく。

そして、必要に応じて他者とも協働し、いろいろな人の意見や能力を生かし、絆を深めたりしながら問題解決へ向かう挑戦の経験を積み重ねることで、児童生徒は、実社会における問題解決に向かう態度と能力を身に付けることができる。

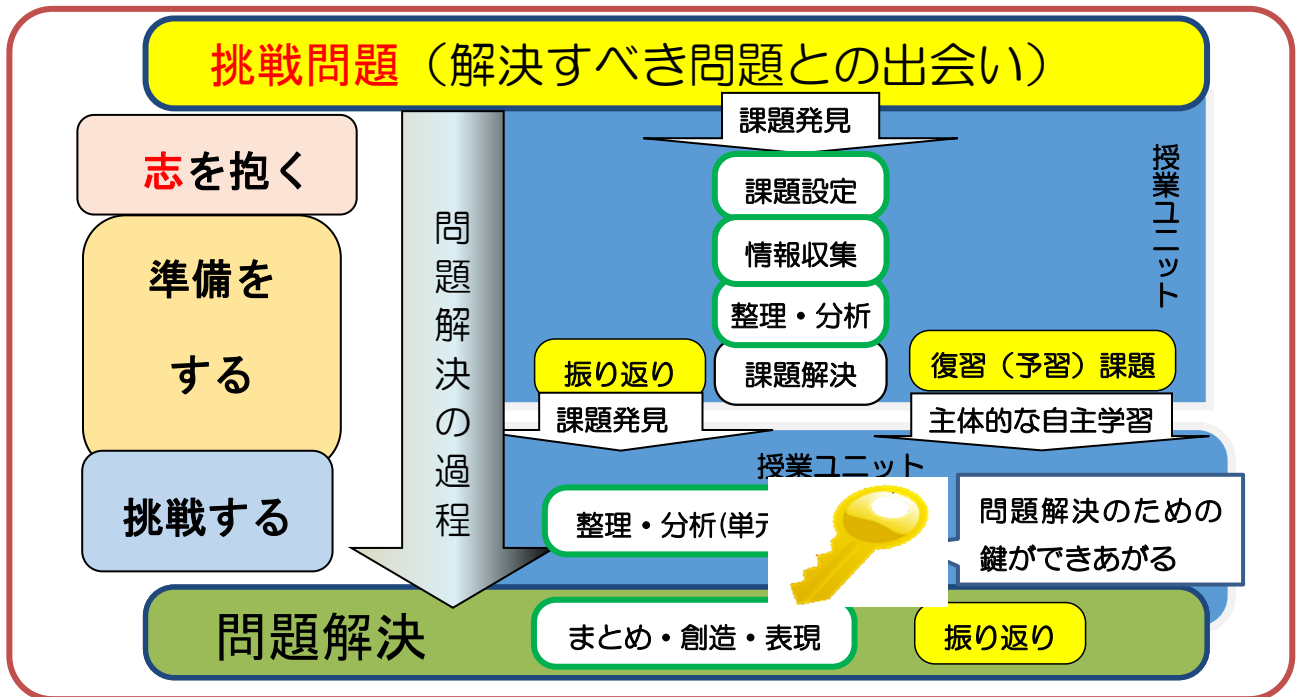
岩石の組織や色をみて、その岩石がどうやってできたか鑑定できるようになった。そうか！もし火山岩だとわかれば…。そうか！この知識と技能を極めれば、灰ヶ峰が火山かどうかわかるかもしれない！

最初は、こんな問題わかるはずはないと思っていたけど、学習内容を活用すれば、灰ヶ峰が火山かどうか、自分なりに推論できるようになった。また、みんなと議論することで考えが深まってよりよい推論に修正することができた。

こうやっていろいろなことを学んでいくことで、いろいろな問題を自分が解けるようになっていける。これからも、学ぶことを大切にしていこう！

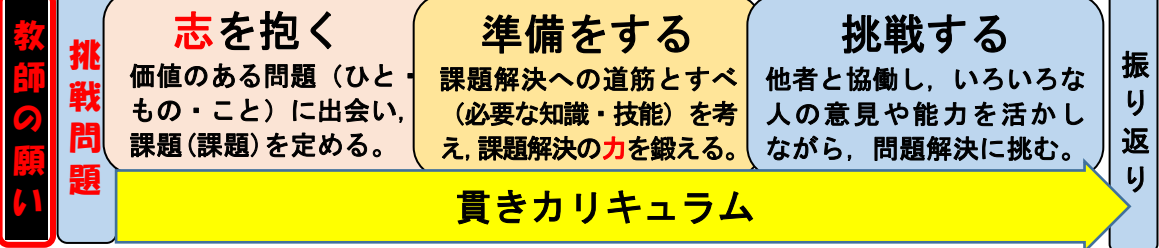
教科学習における課題発見・解決学習の単元づくり

単元モデル図



1 学びがいのある挑戦問題から始まる課題発見解決学習の流れの設定

取組の5つのポイント (H30)



2 振り返り時間(5分)の充実

- 自分自身で学んだことを整理させることで学習の定着状況の把握
- 学習から生まれるさらなる問い(課題発見)(以降の授業の課題設定に生かす)

3 自学自習への意欲を引き出す予習課題・復習課題の設定

- 予習課題(次の時間で活躍させるための準備) 個人思考・情報収集
- 復習課題及び単元末課題(学んだことを定着・活用・発展させる課題)

4 ワークシート・ノート指導の工夫

- 指導方法(問題解決の過程を踏まえた指導)の共有及び改善

5 評価の工夫

- 広南学園の資質・能力のSルーブリックを活用した教科の目標に準拠した評価活動

実践例 理科 第1学年

単元名

「火山活動と火成岩」

挑戦問題 「灰ヶ峰は火山か？」

本単元で育成するおもな資質・能力

知識・技能

思考・表現

協力・協働

挑戦・探究

単元の目標

火山の形や活動の様子及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けてとらえるとともに、火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織の違いを成因と関連付けて捉えることができる。

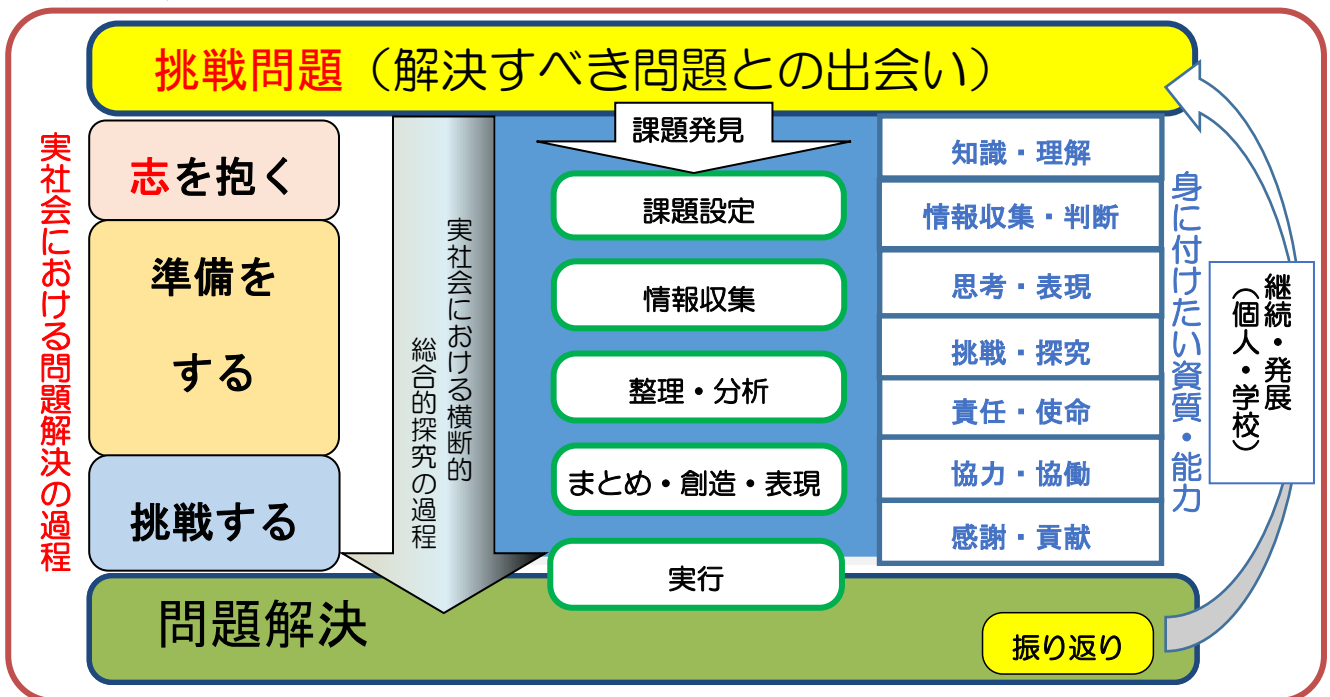
総合的な学習の時間における課題発見・解決学習の単元づくり

広南中学校の総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、生き方について広く深く視野を広げるとともに、故里を知り、つながり、貢献する生き方と方策について横断的・総合的な学習を行うことを通して、主体的・協働的に地域社会に関わろうとする意欲と態度（志）と、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力（力）を育成する。

単元	生き方学習	ふるさと学習
テーマ	不かく尋ね たかく志す	温故挑新
	広く深く視野を広げ、不を覆す高き志を胸に	故里を温め、新しきに挑戦しよう <地域との交流>

単元モデル図



取組の5つのポイント (H30)

- 学びがいのある挑戦問題の設定**
 <生き方学習> 「不かく尋ね高く志す」
 ・人間の生き方について広く深く視野を開くきっかけとなるもの
 <ふるさと学習> 「温故挑新」（故里を温め、新しきに挑戦）
 ・体験を通して故里に感謝の気持ち・貢献する喜びを育てることができるもの
- 実社会における問題解決の過程を意識した総合的・教科横断的指導計画**

教師の願い	志を抱く 価値のある問題（ひと・もの・こと）に出会い、目標（課題）を定める。	準備をする 課題解決への道筋とすべ（必要な知識・技能）を考え、課題解決の力を鍛える。	挑戦する 他者と協働し、いろいろな人の意見や能力を生かしながら、問題解決に挑む。	振り返り
	貫きカリキュラム			
- より深い継続的な取組にするための工夫
 <生き方学習> 学んだことを実践していけるもの
 <ふるさと学習> 学校の伝統として先輩の取組をベースに継続・発展していけるもの
- ワークシートづくり
 ・指導方法（探究の過程を踏まえた指導）の共有及び改善
- 評価の工夫
 ・ポートフォリオ 広南学園の資質能力ルーブリックの活用

「伝統文化を受け継ごう」落語に挑戦！

挑戦問題 「たくさんの人を笑顔にできる新しい自分づくりに挑戦しよう！」

実社会における横断的・総合的な探究の過程（志+力→挑戦）

志を抱く

価値のある問題（ひと・もの・こと）に出会い、目標（課題）を定める

準備をする

課題解決への道筋とすべ（必要な知識・技能）を考え、課題解決の力を鍛える。

挑戦する

他者と協働し、いろいろな人の意見や能力を生かし、絆を深めていく中で、問題解決に挑む。

振り返り

成果と課題を踏まえ、新たな志を抱く

単元目標

「人を楽しませることのできる新しい自分づくり」という問題解決へ向けて古典芸能（落語）の習得に協働的に取り組み、出前落語等で地域の方に楽しんでもらえる貢献活動に挑戦することを通して、地域に貢献する志と課題解決能力の資質・能力を高める。

挑戦問題の提示

たくさんの人を笑顔にできる新しい自分づくりに挑戦しよう！

STEP 1 「落語の魅力を知ろう！」

落語は一人のできる芸なので、自分の特技にできるのではないかなと思いました。練習して完成させるのがとても楽しみです。（生徒感想より）

衣笠さんは、銀行員時代から落語で社会貢献されていた。2年生の先輩もそれに習い、出前落語で地域貢献された。その伝統を引き継いで自分もがんばりたい。

課題発見

今の自分にはあんな表現力もないし、人前でたった一人で演じる度胸もない。

課題の設定

落語の表現の技を学び、表情豊かに相手を楽しませることのできる表現力を身に付ける。

準備をする

課題の設定

情報収集

整理・分析

STEP 2 「落語の技を学ぼう！」

他教科との関連

国語科における古典の世界や古典作品についての学び

教えてもらうのではなく「技を盗む」という気持ちで情報収集していこう

STEP 3 「落語の技を磨きあおう！」

知識・技能

情報収集・判断

彼のように目線を大切にすると確かにちがった人間がしゃべっているように伝わる。僕も取り入れてみよう。

思考・表現

どうしたら、ソバをますように食べているようすが伝わるだろう？

協力・協働

僕の落語を見ていて気付いたことを教えて！

表情が硬いよ。もっと表情を豊かに！

まとめ・創造・表現Ⅰ

広南劇場落語発表者選考会



挑
戦
す
る
振
り
返
り

まとめ・創造・表現Ⅱ

STEP 4 「落語の学びを生かして広南劇場で貢献しよう！」

落語発表者

幕間発表者

さらに技をきわめて、クラスの代表として頑張るぞ。

協力・協働

落語で身につけた力を活用して幕間の出し物や応援の工夫をして会場をあたためるぞ。



いよっ！
広南亭こたつ！

一芸グループ

ダンスグループ

手品グループ

実行

STEP 5 「出前落語に挑戦しよう！」

小学生は楽しいと思うポイントがちがう。不思議だ。

地域のおいちゃん、おばあちゃんに笑ってもらい、長生きしてもらおうぞ！

呉市中の人を楽しませるぞ！

広南中1年、期待の星！
広南亭 あたりだ



小学校全学級へ

感謝・貢献

ふれあいサロンへ

呉市文化ホールへ

小学校とのつながり

地域とのつながり

振り返り

この単元で身に付ける資質・能力ルーブリック

H28 広南中総合的な学習の時間レポートフォーラム

未来を創る

温故知新

不かく尋ねたかく志す

不かく尋ねたかく志す

不かく尋ねたかく志す

学年教師による評価

自己評価

自分自身が成長したと思うところは、はずかしがらずに堂々と演じることができたということです。最初は落語をするのがはずかしくて、はずかしそうに落語をしていました。でも、練習をするうちにはずかしさも次第にとけてゆき、文化祭では堂々と落語を演じ、たくさんの地域の方々を笑わせることができました。

資質・能力及び態度	評価基準	評価
① 情報収集力	A 落語の細かい動作や話しのコツも覚えることができた。 B 落語を覚えることができた。 C 落語の内容を理解することができた。	A
② 思考力・表現力	A 落語の技を自分のものにして、上手に演じることができた。 B 落語の技を取り入れて大きな声ではっきりと演じることができた。落語の技を理解することができた。	A
③ 挑戦心	A 落語を覚え、どうせなら文化ホールで演じてみたいと思う。 B 落語を覚え、人前で演じることにも挑戦したいと思う。 C 落語を頑張って覚えたいと思う。	B
④ 協働性	A 友だちだけでなく、先生や落語家からの助言を求め、よりよい落語にしようとしている。 B 友だちの演技を参考にしたり、アドバイスをし合うことで、よりよい落語に高めあおうとしている。 C 友だちと教え合うことで、落語を覚えようとしている。	A
⑤ 感謝・貢献	A 落語を通して、大勢の人を笑顔にできた。 B 落語を通して、大勢の人を笑顔にしようとした。 C 落語を通して、大勢の人を笑顔にしたいと思っている。	A
⑥ 責任感・使命感	A 落語の良さを大切にしようとしている。 B 落語の良さを大切にしたいと思っている。 C 落語の良さを理解している。	A

※Aのうち、特に優れている場合はSとする。Cに満たないものはDとする。

(生徒の「自己評価」および「振り返り」例)

私は「はなれいな」とも、何の意味があるんだろうと最初は思っていたけど、文化祭で落語をやるって、落語は人を笑顔にさせる、という意味があることを知って、自分も落語は日本の伝統なので、これを大事にしたい。

日本の伝統の笑いの力をしっかり理解できたね！ 堂々と演じることができた。

成果と課題

「資質・能力」の姿容

	知識 技能	挑戦 探究	情報収集 判断	思考 表現	協力 協働	感謝 貢献	責任 使命
広南小 (小6時)	+21	+11	+28	+12	+17	-	+22
広南中 (中1時)	+18	+27	+46	+38	+25	+29	+22

(単位:ポイント)

「基礎・基本」定着状況調査および全国学力・学習状況調査の児童・生徒の学習生活アンケートの項目を活用し県平均および全国平均との差で姿容を見取った。ただし「感謝・貢献」の指標はH27 全国学力・学習状況調査(小学校)に無いので非表示である。

(生徒の「自己評価」及び「振り返り」より)